

上川北部地域の紹介～カントリーサイン編～



中川町
Nakagawa Town



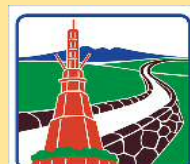
音威子府村
Otoineppu Village



美深町
Bifuka Town



名寄市
Nayoro City



下川町
Shimokawa Town



和寒町
Wassamu Town



剣淵町
Kembuchi Town



士別市
Shibetsu City

※掲載地図は編集者が作成したものです。実際の境界・縮尺と違う場合がありますが、ご了承ください。

上川北支部は士別市、名寄市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府町、中川町から構成されています。

Contents

- ☆ 支部長挨拶
- ☆ 看護協会通常総会参加報告
- ☆ 上半期事業報告
 - ・ 看護の日イベント
 - ・ 上川北支部会員懇談会
 - ・ ふれあい看護体験
- ☆ フレッシュさん紹介

上川北支部会員数 (令和元年7月現在)

保健師	18名
助産師	22名
看護師	446名
准看護師	49名

施設数	19施設
個人会員	12名
会員総数	535名

編集・発行

公益社団法人
北海道看護協会
上川北支部 広報委員会
松岡 瞳
菅野 竹子
河野 美樹
大和屋 圭衣子

発行責任者
永谷 智恵

支部長挨拶

日本看護協会は、2025年を見据え、少子・超高齢化社会における保健・医療・福祉体制の再構築は、看護職が立ち向かっていくべき大きな課題とされ、2015年に「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を将来ビジョンとして表明しています。

保健・医療・福祉の人的資源と財源が限界を迎えている中で、人々の医療・介護ニーズは増大し、多様化・複雑化しています。人々のニーズに応え、健康な社会をつくるために、わが国は地域を基盤とした「地域包括ケアシステム」へ転換が図られました。それは、従来の病院完結型から、医療・ケアと生活が一体化した地域完結型の体制化です。医療機関に入院して受療していた人々の多くが、住み慣れた地域において受療しつつ療養するようになります。健康の維持・増進、疾病の予防から始まり、疾病・障がいを抱えながらの療養生活の継続、そして人生を全うするまでを地域で支えるということです。

そのため私たち看護職は、健康・医療と生活、両方の視点を持ち、多様な場で役割が発揮できる力が必要となっています。さらには人々が安心して暮らせるための多職種連携・協働する調整力も重要となっています。

先日、上川北支部では「医療・介護の連携と協働～在宅復帰に向けた支援と課題」と題して会員懇談会を行いました。上川北部地域の多職種の方のご参集のもと、各施設からの情報提供や課題が提言され、意見交換を通じ顔が見える関係作り・連携の深まり、調整力の向上を感じております。

これからも地域住民の皆様がこの地域で安心して暮らせ、質の高い看護が提供できるように、役員一同力を合わせて支部運営を行ってまいります。今後とも、上川北支部の看護職の皆様のご協力・ご支援を賜りますよう、宜しく願いいたします。



名寄市立大学
保健福祉学部看護学科
学科長 永谷 智恵

令和元年度 日本看護協会通常総会に出席して

北海道看護協会上川北支部の代議員として6月6・7日の2日間、北海道函館アリーナで行われた日本看護協会通常総会、全国職能別交流集会に参加させて頂きました。

福井会長より、タグライン「生きるを、ともに、つくる。」をもとに、2002年末までの2年間「看護の力で健康な社会を!」をテーマに、Nursing Nowキャンペーンに取り組む事の説明がされました。看護職がもつ可能性を最大限に活用し、社会に求められる役割を果たしていくことの重要性を再認識することが出来ました。

重点課題として、看護基礎教育制度の改革の推進・地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・看護職の働き方改革の推進・看護職の割拡大の推進と人材育成の4つがあげられており、看護基礎教育の4年制化・准看護師制度に係る課題解決・看護機能連携システムの構築・訪問看護師倍増対策・働き方改革モデルの検討・新たな認定看護師制度等、今後の方向性を提示されました。

看護職に求められるものが急速に変化していく中で、地域住民が安心して暮らせるよう取り組むための課題や、看護職自身の働き方など多くの情報を得ることができました。学び多い機会をいただいたことに感謝いたします。

臨生会 吉田病院
宮方 佳織



令和元年度上半期

事業報告

ふれあい看護体験



参加者全員で記念写真！



血圧測定の実験

7月9日に士別市立病院、8月2日に名寄市立総合病院にて、地域の高校生を対象にふれあい看護体験を実施しました。

士別市立病院では、施設見学、血圧測定や感染防止の為に手洗い体験、食事介助場面の見学を行いました。名寄市立総合病院では、手浴・足浴の体験、疑似体験装具を用いて片麻痺の患者さんの疑似体験、ヘリポート等の施設見学、各病棟で患者さんとのコミュニケーションを図りました。

今回の体験を通して、看護師に対する関心を高めて頂ければ幸いです。



手浴の実験



ヘリポート上っちゃいました！

5月12日は看護の日

日本看護協会はフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を「看護の日」、またその日を含む1週間を「看護週間」と定めています。



今年も例年通り、看護の日のイベントが開催されました。5月10日は名寄市立総合病院にて、保育所の園児達がナースとなり、院内の患者さんにハンカチを配布して回りました。5月12日には地域のショッピングモールにて、看護学生による血圧測定や栄養補助食品・ハンカチの配布、ちびっ子ナース写真撮影が行われました。多くの方々に、看護への興味を持ってもらうきっかけになったと思います。

令和元年度 上川北支部会員懇談会

7月6日 名寄市紅花会館で上川北支部会員懇談会が行われました。

午前中は、北海道看護協会の常務理事 佐々木 衿子様より、「看護の動向」について講義があり、職能団体としての役割や今後の方向性などについて学ぶ機会となりました。

午後からは、支援相談員・支援専門員による近郊施設の特徴・在宅復帰に向けた地域連携に関わる活動状況・課題等についての講義を受けた後、「医療と介護の連携と協働」についてグループワークが行われました。グループ毎にそれぞれの職種・立場での現状・課題を報告し合いました。最後にパネルディスカッションが行われ、活発な意見交換があり、顔の見える地域連携の一端を担う事が出来た研修会でした。



上川北支部による講演会・研修会予定（下半期）

9月7日	支部担当研修会・医療安全管理者ネットワークづくり
9月28日	保健師助産師職能合同研修会
10月5日	三職能合同研修会
10月6日	新生児蘇生法講習会（スキルアップコース）
10月26日	働き続けられる職場環境づくりの推進 研修会
2月15日	上川北部支部総会・研究発表会

今後の抱負を教えてください



士別市立病院

齊藤 優希さん

私は4月から看護師として病棟で勤務し4ヶ月が経ちました。まだまだ分からないことや覚えなければならない技術・知識が多く大変ですが、先輩看護師のご指導の下、日々精進していきたく思います。そして、患者さんに寄り添うことを忘れずに、少しでも早く正しい知識や技術を身につけ、先輩看護師のような立派な看護師になれるよう切磋琢磨していきたくです。



名寄東病院

木津 祥子さん

准看護師として、4月から療養病棟で働き始めて4ヶ月が経ち、職場の環境にも慣れてきました。

忙しい毎日ではありますが、日々患者さんの立場に立つ事を忘れずに看護していきたいと思っています。

また、患者さんや家族から必要とされる看護を提供できるように頑張っていこうと思います。

フレッシュさん紹介！



名寄市立総合病院

大熊 唯さん

私が名寄市立病院で働き始めて、4か月が経ちました。複数の診療科のある混合病棟で勤務している為、患者さんとの関わりから様々な診療科の看護を日々学んでいます。

私は患者さんの思いに寄り添う事の出来る看護師を目指しています。今後も先輩方からのご指導や日々の患者さんとの関わりの中で成長していき、知識や技術を身につけて目標とする看護師に近づける様頑張っていきたいと思っています。



名寄市立総合病院

塚本 恵子さん

私は、助産師として4月から産科・小児科病棟で勤務させて頂いています。入職して4か月、先輩方の指導を受けながら、業務を一つずつ行っていく事で精一杯の日々です。大変な毎日ですが、先輩方や患者さんに支えられ、少しずつ自分自身が成長出来る様、努力しています。

まだまだ未熟ではありますが、助産師としての責任を持ち、安全なケアの提供と患者さんに寄り添う気持ちや、笑顔を忘れずに頑張っていきたいと思っています。